

第1学年 算数学習指導案（かたちあそび）

1 単元名 かたちあそび

2 配当時数 4時間

3 活動時期 10月

4 単元の目標

身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。

○知識・技能

身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解したりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。

○思考・判断・表現

身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。

○主体的に学習に取り組む態度

身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果をふり返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

5 教材観

本単元では、立体図形や平面図形についての基礎となる経験を豊かにすることをねらいとしている。身の回りにあるものの形を観察や構成の対象とし、身の回りからそれらを見つけたり、実際に手に取ったり、形作りをしたりする活動をする。そのような活動を通して、ものの色、大きさ、位置や材質に関係なく形を認め、形の特徴について捉えることができるようにする。

6 単元の指導計画（4時間）

目 標	時数	評 価
（1）かたちをつくろう		
立体図形に親しむ。 箱などの身の回りの具体物の概形を捉え、立体図形の特徴や機能を知る。	2	知・技① 態 度①

目 標	時数	評価
(2) かたちの とくちょうを まとめよう		
箱などの身の回りの具体物を概形や特徴、機能から分類する。(コアカリキュラム)	1	知・技② 思・判・表①
(3) かたちを うつして えを かこう		
立体図形を構成する面の形に着目して、平面図形を見出し、説明することができる。	1	知・技③ 思・判・表②

プログラミング教育コアカリキュラム(配当 1 時間) 3/4

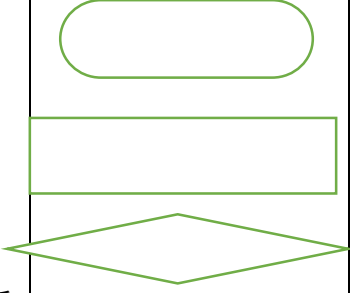
◎ 目 標 身の回りにあるのものの特徴を捉えて分類することができる。(知・技)

◎ プログラミング教育との関連

本単元では、平面なもの、球状のもの、長さが全て等しいもの等に仲間分けしていく過程において、プログラミング的思考を意識した指導を行う。具体的には児童の思考過程をフローチャートに置き換えることを通して、思考の流れを可視化し、順序立てて考え、効率よく課題解決を進める方法の意識化を図る。

◎ 展 開

学習活動	主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点
■めあてがわかる。	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> にている かたちを あつめましょう </div> <p>T 今日はここにある積み木を、にているかたちにわけてみましょう。分けたら、どんな仲間なのか、名前をつけましょう。</p> <p>T グループ (ペア) で相談しながら仲間分けしましょう。</p>	積み木 (グループ分) (各グループに、筒の形、箱のかたち、さいころの形、ボールの形が同じ数ずつ行くように)

学習活動	主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点
<p>■考える。</p> <p>■発表する。</p> <p>■考え方のフローチャートをつくる。</p> <p>■まとめ</p> <p>■ふり返り</p>	<p>◎ グループで仲間分けをする。</p> <p>T では、発表してください。</p> <p>C 私達は、たいらなところのあるものと、ないものに分けました。</p> <p>C 私達は、転がるものと転がらないものに分けました。</p> <p>C 私達は、さいころのかたちとそれ以外に分けました。</p> <p>C 私達は、どこも四角のものと、それ以外に分けました。</p> <p>T どの考えもいいですね。では今からみんなの考え方を、今からフローチャートという表にまとめましょう。フローチャートには、みんなの考えの流れが、ひとめで分かるよさがあります。</p> <p>T フローチャートの約束を話します。</p> <p>① 楕円形の始まりと終わりを最初と最後につけます。</p> <p>② 順番に書いていくことは長方形にします。</p> <p>③ 答えが分かるときはひし形にします。</p> <p>T では、今からみんなで今日のかたちくらべのフローチャートをみんなでつくっていきましょう。 【先生と児童で、確認しながら、黒板にフローチャートを作成していく。】</p> <p>T これで見ると、かたちを、どのように考えて、分けたかわかりますね。</p> <p>では、ふり返りをしてください。</p>	<p>分け方のポイントに悩んでいる班には、最初のポイント「転がる」を示唆してもよい。</p> <p>それぞれの分けたポイントを説明させる。</p> 

【フローチャート】

